

始めて拙文を呈上しまして恐縮ですが、御法話を特によく御指導の程、懇願する者であります。御鞭撻下さい。佐藤師は文筆家であり実践躬行の布教師家 小子も管内布教師三期目ですが資料に苦勞をしていて佐藤師にいろいろ資料を依頼しておる者であります。一ヶ月程前 当

山発行の「成寿」を頂戴して拝読させて頂いていただき、早く連絡を申しておつき合いを受けて資料等の好縁を得たく、御多忙な中失礼ですが乱筆を書いている者であります。黒田師の成寿開巻二枚目で御尊姿を拝し、福徳円満御健勝らしく拝するも人格共に兼備の御尊影、仰せの如く宗祖を通して釈尊に還ることの重要性——本当に当該を読ませていただくにつづく慮るものがあります。私も大

いに反省をして毎日報恩感謝の日暮しをしておるつもりであります。老師の御芳名は時折中外日報で閲覧したかと想起しております。どうか御健勝にて御精進を熱望いたします。

黒田老師様

万福小住

村上 博夫九拝

成寿夏号お送り下さいまして本当に有難度う御座居ました。

お元気で御躍役の事と御推察致します。インド特集の珍らしい種々の状況に主人は戦争中の事を想出し種々二人で語り合つて居ります。早いもので息子が亡くなってもう二回目の益になり、又孫の来道を毎日の様に心待ちにして居る状態です。暑さに向います故お体大切に下さいます。先づはお礼まで

西川巢治

八月二日從弟の故高橋敏通の一回忌に御世話に相成りました折「曹洞宗在家勤行聖典」並びに「成寿」第七巻を御恵与下さいまして誠に有難う御座居ました。

小生宅は曹洞宗に属し、鎌倉仏教の只管打坐実践の開祖道元禪師の「正法眼藏隨聞記」懷舛編を読んで甚だ考へさせられるところがありました。

毎朝「勤行聖典」を読んでおります。右御礼方々御挨拶申し上げます。

高橋保夫

五月二十八日には拝登させて頂き厚く御礼申し上げます。又、七月六日全福寺さんより夏号が届き重々恐れ入れます。四季折々の厚味のある本は一服の清涼飲料水のように爽やかで尊いお教えを与えて下さいますので御恵送下さると有難く拝読させて頂いております。こちらまで本当にすみません。まずは礼状にて、御身

体を御大切になさいますように

高山さつき

小生、上山以来早や二ヶ月が過ぎようとしてますが、何とか無事に日々を過ごしております。そこで簡単ではありますがありますが、今までの修行の経過を報告いたします。

八月二十一日 上山 旦過寮入り

二十三日旦過寮より衆寮へ二十五日

より二十九日まで 接心会 九月十日

より十九日 待者役 九月二十日

より十月九日 殿行役 十月五日より九日

典座役 十月十日より堂行役

以上、人手不足の為、色々の役を短期間で覚えねばならず、四九日といえども、ゆっくりと休む暇はありません。

次に、好国寺における一日の行持を報告いたします。

午前四時 振鈴 四時二十分止静

五時抽解 朝課 六時止静 六時四十分抽解

七時三十分粥座 八時三十分朝参

九時作務(十時より十時三十分休息)

十一時四十分齊座

午後二時三十分作務 四時三十分休息

五時晚課 五時二十分止静 六時抽解

六時二十分薬石 七時二十分止静

八時抽解、随坐 九時開枕、夜坐

作務は畑仕事の清掃が主で、檀務はほとんどありません。中国禪の僧堂のあり方に近いです。好国寺では、法式をひととおり覚えてしまえば、只管打坐の毎日になるはずですが、また、当僧堂は、原田祖岳老師の系統で、公案禪をとりいれている為、見性者は公案を見ねばなりません。小生、幸か不幸か、八月の接心会で見性させていただき、法式を覚える他に、公案を単提せねばならず、正直いって、今のところは、公案は、負担です。公案は、堂長様がみてくれるのですが、中々、きびしく、頭痛のタネはつきません、とはいえ、当

道場が原田祖岳老師の系統という点とで、前角老師との縁浅からず、この僧堂にきてよかつたと思っております。

ともあれ、まだまだ未熟者で迷惑ばかりおかけしている小生ではありませんが、修行に励み、少しはまともな僧侶として帰る所存しております。

正田大観

### “原稿・おたよりを”

「成寿」誌では「読者からのお便り」の頁を設け、皆様の投稿をお待ち申し上げます。何でも結構でございます。どうぞ下記までお送り下さい。

送り先

横浜市港南区日野町1604

成寿山善光寺 成寿編集室